

科目名称	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法（小）
授業コード	BN380
英語名称	
学期	2024年度前期
単位	2.0
担当教員	神谷 純子
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	特別活動は、学校教育における教育課程の一領域を構成する。子ども個々が実際の活動体験や生活経験を通して、「なすことによって学ぶ」ことを指導の基本理念としている。それゆえ、望ましい集団活動の実際を演習的に体験し、人間関係形成能力や自主性及び実践的な態度形成の力量を育み、学生自らが学べるような授業を構成することを目的とする。この考えを基本に、学校教育において子どもが身に付けたい自発的・自治的な力、社会の一員としての自覚と態度、自己指導能力などについての研究を深める。あわせて、学生自身の社会人基礎力や自己実現能力を養う。
科目に関連する実務経験と授業への活用	学校教員としての実務経験を踏まえて講義内容及び方法に工夫を凝らし、教育現場に根差した知識技術の修得を図る。
到達目標	学科のカリキュラム・ポリシーとの関係では、「教職基礎科目」に分類され、教育的指導者に要求される子どもの発達や教育に関する基礎的理解力を養成する科目に相当する。また、学科のディプロマ・ポリシーとの関係では、教育の実践的な活動を支え、それに不可欠な教育学・教科内容学・教科教育学などの専門的知識や技能を修得することを目指す科目に相当する。
計画・内容	<p>第1回：特別活動の目標と内容 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分）</p> <p>第2回：学級活動の内容(1)（評価・改善活動を含む） 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分）</p> <p>第3回：学級活動の内容(2)(3) 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分）</p> <p>第4回：学校・学級における集団活動のポイント（内容，方法） 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分）</p> <p>第5回：学級集団育成の技術 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分）</p> <p>第6回：特別活動における特別支援教育 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分）</p> <p>第7回：学校における実践事例 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分）</p> <p>第8回：特別活動の内容構成の理解 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分）</p> <p>第9回：単元計画の基本的な考え方及び学習状況の評価 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分）</p>

計画・内容	<p>復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分）</p> <p>第10回：各内容の理解（児童会・生徒会活動）</p> <p>予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分）</p> <p>復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分）</p> <p>第11回：各内容の理解（クラブ活動）</p> <p>予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分）</p> <p>復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分）</p> <p>第12回：各内容の理解（学校行事）</p> <p>予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分）</p> <p>復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分）</p> <p>第13回：実践事例</p> <p>予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分）</p> <p>復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分）</p> <p>第14回：特別活動と教育課程の編成・他の教育内容との関連</p> <p>予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分）</p> <p>復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分）</p> <p>第15回：指導計画の基本的な考え方・作成</p> <p>予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分）</p> <p>復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分）</p>
授業の進め方	基本的に講義形式だが、随時演習等を行う。
能動的な学びの実施	随時演習等を行う。
授業時間外の学修	<p>予習：参考図書等の目次に目を通す（時間 120分）</p> <p>復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分）</p>
教科書・参考書	<p>基本的な参考文献：</p> <p>文部科学省『小学校学習指導要領』</p> <p>文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別活動編』</p> <p>その他、適宜授業で紹介する。</p>
成績評価方法と基準	<p>(1) 各々の担当者が以下の基準で素点を算出する。</p> <p>授業内で課す小課題（60%）、最終課題（試験）（40%）の結果を総合的に判断する。</p> <p>(2) 各々の素点を授業担当回数の割合で比重付けして合算する。</p>
課題等に対するフィードバック	リアクションペーパーや小課題については、随時フィードバックを行う。
オフィスアワー	Campus Square を参照
留意事項	本科目は、教員免許状取得のための【必修科目】にあたる。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>非対面・オンライン（オンデマンド課題）学修 15回に切り替える。</p> <p>Campus Squareの掲示板またはレポート提出欄に課題・動画URLを提示し、レポート提出欄から課題を提出する形式をとる。</p> <p>平時（対面授業時）に準ずる。</p>